

# にじ

高知医療センター 開院10周年企画  
～診療現場の「今」と「これから」～

特集 第2回 高知医療センター  
外科グループ …… P2～P5

- 高知医療センター ホームページに関するアンケート結果 …… P 6
- 地域医療連携病院のご紹介 Vol.75  
医療法人 美正会 かわむらクリニック整形外科 …… P 7
- 高知医療センター・イベント情報 …… P 8

# 5

MAY 2014 Vol.103



腹腔鏡手術のようす

高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —



第2回

# 高知医療センター 開院 10周年企画 ～診療現場の「今」と「これから」～



写真：外科グループ

## 第2回 高知医療センター 外科グループ 消化器外科・一般外科 / 乳腺・甲状腺外科 / 移植外科

### はじめに

文責：高知医療センター 地域医療センター長 西岡 豊

平成 17 年 3 月の高知医療センター開院以降、消化器外科・一般外科を中心に、乳腺・甲状腺外科、移植外科のスタッフ達は一つのグループを作り、“高知医療センター外科グループ”として診療を担当してきました。おかげさまで現在のスタッフ総数は兼任を含み 19 名となりました。

消化器外科・一般外科は、消化器臓器別専門診療に加え、内視鏡外科や Acute Care surgery などの幅広い分野を担当しています。また、消化器の各臓器はそれぞれ密接に関連しあって機

能していますので、総括的にとらえていくことは大切なことであり、したがって各臓器の専門グループは他の専門グループと常に連携をとりながら、一人一人の患者さんを診ていくことを大切にしています。

また、乳腺・甲状腺外科、さらに移植外科は、診療内容の専門化に伴い、消化器外科とは別のプログラムで診療を担当しています。

次に、グループの中心となる消化器外科・一般外科の手術実績や、乳腺・甲状腺外科、さらに移植外科の現状を紹介します。





## 消化器外科・一般外科【手術実績】

文責：高知医療センター 消化器外科 科長 志摩 泰生

手術実績は下記のようにになっており、月曜日から金曜日まで、2-4 列（3-6 例程度）で多くの手術症例数をこなしています。手術予定も1ヶ月先まで予約は入っていますが、穿孔、狭窄や出血の症例に対しては、緊急もしくは準緊急で対応しており、また膵癌など悪性度の高い癌においても、必要に応じて2週間以内に予定を入れるようにしています。各手術に鏡視下手術も行っており、特に胃および大腸疾患では積極的に鏡視下手術に取り組んでおり、最近では肝切除にも鏡視下手術を導入しました。肝胆膵疾患の手術症例数は中四国屈指で、たとえば、膵頭十二指腸切除術は昨年 61 例行いました。入院患者数は70名前後で16名のスタッフで担当しています。

カンファレンスは、1週間に1回は消化管症例術前検討会、肝胆膵症例検討会、術後症例検

討会、英文抄読会を、1年に数回は登録医からの紹介患者報告会を行っています。学会発表、論文執筆も積極的に行っています。昨年は英文論文10篇、邦文論文9編、学会発表は78件行いました。

スタッフは消化器外科関連の各種学会の専門医などを多数有しており、外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医、日本肝胆膵外科高度技能指導医、日本胆道学会指導医、食道科認定医、大腸肛門病学会専門医、消化器病専門医・指導医などの資格を取得しています。また各種学会の修練施設にも指定されており、外科専門医制度修練施設、消化器外科専門医制度修練施設、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度修練施設(A)、日本胆道学会指導施設、日本大腸肛門病学会関連施設などに指定されています。

### ■手術実績 2006～2013年

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
食道疾患	37	29	13	31	21(2)	19	20	19
胃十二指腸疾患	200(10)	195(30)	138(33)	149(34)	164(25)	168(46)	176(49)	198(56)
大腸疾患	195(63)	171(97)	165(71)	242(117)	219(134)	254(128)	257(98)	251(120)
肝胆膵疾患	251(113)	240(102)	263(104)	263(89)	264(76)	278(100)	286(100)	399(136)
その他	241	161	344	390	377	267	273	256
合計	924	889	923	1075	1045	986	1012	1123

※()内は鏡視下手術件数 [単位：件]



## 乳腺・甲状腺外科

文責：乳腺・甲状腺外科 科長 高嶋 大典

2013年4月より高知医療センター乳腺・甲状腺外科科長として赴任して約1年が経過しました。これまで診療体制の見直しや改善などを行い、地域の先生方のお力添えもあり、少しずつ受診患者さんの数も増えてきております。紙面をお借りして御礼申し上げます。

乳癌診療を取り巻く環境は昨年1年間でも乳房再建の保険収載、新規分子標的薬の相次ぐ承認など目まぐるしく変化しております。これらにいち早く対応し高知の乳癌患者さんに都会の専門病院にひけをとらない診療体系を提供できるよう日々心がけております。今年度中には最新型のマンモグラフィー撮

影装置の導入、さらに数年後にはがんセンターの増築も予定されており、ますます充実した設備で高度な診療が可能になると期待しております。もちろんハード面のみではなくスタッフの教育、診療レベルのさらなる向上、市民の皆様向けの講演などにも今以上に力を注いでいきたいと思っております。

甲状腺疾患に関しては4月より新たに大石医師が着任いたしました。2年間甲状腺専門病院で数多くの手術症例を経験し、高知医療センターに戻って参りましたのでこれまで以上に高知県の甲状腺疾患の治療に貢献してくれると期待しています。今後ともよろしくお願いいたします。

## 移植外科

文責：移植外科 科長 澁谷 祐一

高知医療センター移植外科では腎移植を中心とした腎不全外科治療を行っています。高知県立中央病院から引き継いで行っている腎移植は、平成26年3月までに277例となり、高知医療センターでも82例の腎移植を行いました。昨年は生体腎移植15例、献腎移植1例でした。それ以外に内シャント手術、2次性副甲状腺機能亢進症に対する手術を行っています。

腎移植は末期腎不全の治療のひとつです。QOL（生活の質）が向上し、透析に伴う合併症も改善し、生存率もよくなり、医療費の削減にもつながります。近年の免疫抑制療法の進歩により血液型不適

合腎移植（血液型が合っていないでも腎移植可能）や、夫婦間の移植が増加しており、透析をする前に腎移植を行う（先行的腎移植）人も増えています。

また糖尿病性腎不全患者さんの腎移植にも力を入れています。当院で行った腎移植のうち23%が糖尿病性腎不全でした。糖尿病性腎不全の患者さんは透析を行うことでさらに動脈硬化が進み生命予後が悪くなるため、できるだけ早い時期に移植を行う、可能であれば先行的腎移植が望ましいです。腎移植に関していろいろな相談を受けますので一度受診してください。



中央手術スタッフ

## フロア紹介

高知医療センター5階ほがらかフロアは、がんセンターを有しており、その中でも5Bフロアは消化器外科 / 一般外科、乳腺甲状腺外科を主とした患者さんが入院されています。大腸癌や直腸癌の患者さんも多く、人工肛門の造設が年間約80件あります。入院期間が短いいため患者さんやご家族への指導が重

要な看護のポイントになります。

入院時はもとより、退院や転院など、どこにいても患者さんに必要なケアが継続していけるように取り組んでいます。また消化器外科は食事も重要であり、栄養サポートチームとのカンファレンスも積極的に行っています。



ほがらか5Bフロアスタッフ

## 最善の外科医療を提供するために

文責：高知医療センター 地域医療センター長 西岡 豊

今後、患者さんから信頼される良質な治療の確立のためには、“有効性が証明された最先端の外科治療”を提供することで、患者さんに満足、納得していただける診療を実践していく必要があります。

外科医療は決して個人一人のちからで成り立つものではなく、チーム医療として実践していかなければなりません。そのためにも、個々の力量を最大限に高めるとともに、ひとつの目標に向かって協力し合い、力が発揮できるような成熟したチームを作り上げ、最善の外科医療を提供していきたいと考えています。

私たちのもう一つの重要な使命は、若手外科医師の育成です。社会から信頼される外科医となるためには、しっかりとした指導体制のもと多くの症例を

経験することが必須です。

外科グループでは各種専門医資格の取得はもとより、自ら後輩を指導できるだけの十分な技量をつけることが可能です。外科志望にあたっては過去の成績や器用不器用は不問です。患者さんを思う気持ちと、外科医になりたいという夢があれば十分です。高知医療センター外科グループには自然と良い外科医になれるシステムが確立されていると自負しています。

これからも外科グループとして、県民の皆様に質の高い最高の医療を施すことが出来るように努力していきたいと考えています。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。



本院患者さんに  
「高知医療センターの  
ホームページをご覧になっていますか？  
ご利用になっていますか？」と尋ねてみました

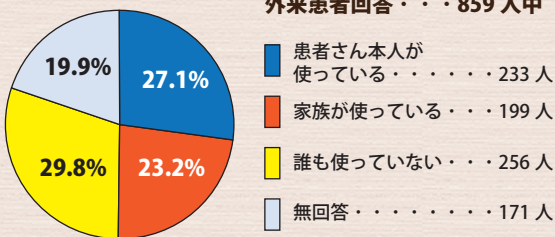
2014年3月集計

ホームページを利用する患者さん側から見て、現在のホームページはどうか映っているのか、どのように改善するべきかを考えるために、アンケートを行いました。

**Q1.**

患者さんご本人、あるいは身近の方で、インターネットをご利用の方がいますか？

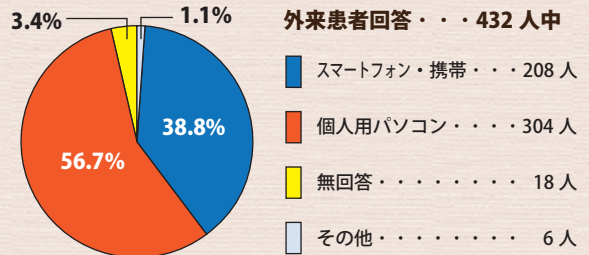
外来患者回答・・・859人中



**Q2.**

Q1. でご本人、あるいは身近の方が使っていると答えの方にお尋ねします  
インターネットはどのような方法でご利用ですか？ ※複数回答あり

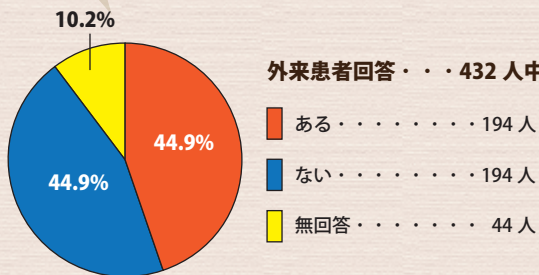
外来患者回答・・・432人中



**Q3.**

Q1. でご本人、あるいは身近の方が使っていると答えの方にお尋ねします  
当院のホームページからの情報が役に立ったことがありますか？

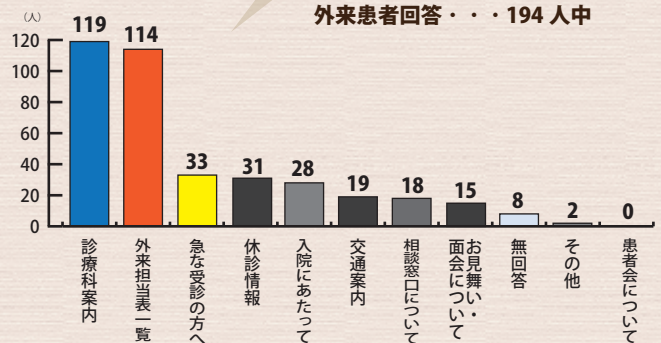
外来患者回答・・・432人中



**Q4.**

Q3. で「ある」とお答えになった方へ役に立ったホームページの情報を下からお選びください ※複数回答あり

外来患者回答・・・194人中



**アンケート結果を見て**

ここでは外来患者さんからの結果を載せましたが、同時に実施した入院患者さんへのアンケートも、ほぼ同じ結果でした。すなわち、患者さんは60歳台を中心として高齢者が目立つ本院ですが、予想以上に多くの患者さんが直接、間接的にインターネットを見ていただいていることが初めてわかりました。しかしせっかくアクセスしていただいた方でも、約半数の方が役立つ情報が得られなかったとのこと、今後は患者さんがどのような情報を求めておられるかなどもお聞きしつつ、皆様にとって「役立つホームページ」を目指して、努力していきたいと思います。

広報委員長 深田 順一

**にじに関するアンケートご協力をお願い**

本号には、最近の「にじ」についての読者アンケートを織り込んでいます。お忙しい中恐縮ですが、是非、お目を通していただき、下記番号宛て、ファクシミリにて返送いただきますようお願い申し上げます。

高知医療センター FAX : 088-837-6766





## 医療法人 美正会 かわむらクリニック整形外科

〒780-0072 高知市杉井流 1-5  
 TEL : 088-885-3700  
 FAX : 088-885-3701  
 HP : <http://www.kawamura-cl.jp/>

(診療科)  
 整形外科・リハビリテーション科・  
 リウマチ科



診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 13:00	●	●	●	●	●	●	△
15:00 ~ 18:30	●	●	●	△	●	△	△

(休診日：木曜午後、土曜日午後、日曜日祝日)

医療法人美正会 かわむらクリニック整形外科は、平成14年10月に開院しました。腰痛、膝痛、リウマチ、骨粗鬆症や骨折、捻挫、靭帯損傷など運動器の疾患、外傷に対する診療を行っています。

(か：かわむらクリニック整形外科、高：高知医療センター)

高：貴院が現在力を入れていることを具体的にお聞かせください。

か：整形外科の標準的な考えに基づいた医療を患者さんに提供するようにしています。必要であればMRIも用いて病因を明らかにするように努め、患者さんが納得できるような説明をするように心がけています。治療としては骨折や靭帯損傷に対するギプスおよび装具固定、痛みやしびれに対する薬物療法、理学療法士による運動器リハ、物理療法などを行っています。不必要なことは行わず、患者さんに回り道をさせないようにしたいと考えています。

高：地域との連携や他医療機関との連携について貴院での取り組みなどお聞かせください。

か：当院へ受診された患者さんで、手術が必要と診断した場合は、疾患に応じて適切な基幹病院へ紹介しています。手術適応かどうかの判断が困難な症例もありますし、また、経過

観察例における病状変化では手術時機を逸せずに紹介することが難しい場合もあります。これらの点に注意しながら基幹病院に相談しています。

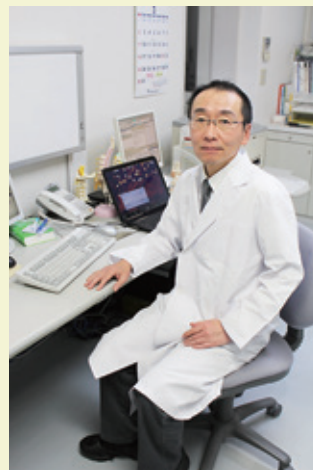
手術が必要でないが安静目的などで入院治療が必要な患者さんは主に個人病院に紹介しています。また、手術が終わり病院を退院した患者さんで引き続きリハビリが必要な場合は、当院へ通院してリハビリを行うなどの連携をしています。

高：今後、貴院が目指されていくことなどをお聞かせください。  
 か：限られた財源の中で無駄の少ない医療を確立するために、病診連携をさらに進め医療機関の役割分担を明確にしていけたらよいと考えています。それにより高知医療センターにとって不必要な負担も減るのではないのでしょうか。当院はまだまだ力不足の部分もありますので、さらに精進して整形外科診療所として高知の整形外科医療に少しでもお役に立ちたいと考えています。

高：最後に高知医療センターとの連携についていかがですか？  
 か：整形外科疾患の中でも脊椎、関節では多くの手術例に対応していただいています。骨軟部腫瘍においてはMRIを撮影しても診断がつかない症例も多く、この場合も高知医療センターで診断および治療をしてもらっています。また、治療に難渋する痛みがある症例ではペインクリニック科での治療もお願いしています。高知医療センターには引き続き高知の医療を引っ張って行って欲しいと考えます。患者さんのコントロールが十分にできない場合や、治療難渋例でご迷惑をかけることも少なくないと思いますが、これからもよろしく願っています。



川村院長とスタッフの皆さま



川村 正英 院長

ご多忙の中、取材にご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。



月	日	曜	高知医療センター イベント情報 5月～			
5月	18	日	<b>高新・高知医療センターがんセミナー・2014</b> (参加費要、事前申込要)			
			内容	「泌尿器科のがんについて -前立腺がん、膀胱がん、腎がん-」	場所	高新文化教室 (RKC 高知放送南館 3階 37号室)
			講師	高知医療センター 泌尿器科 主任医長 新 良治 氏	時間	10:30 ~ 12:00
	主催: 高知新聞社、高知医療センター 協賛: アフラック高知支社 主管: 高知新聞企業 お問い合わせ: 高新文化教室 TEL: 088 (825) 4322 (受講料 9,850円 / 全12回、1,500円 / 1回)					
	21	水	<b>高知医療センター 看護局集合研修 他施設公開研修プログラム</b> (事前申込要)			
			研修名	「患者の精神状態のアセスメントとケア」	場所	高知医療センター 1F 研修室 1・2
			講師	高知医療センター 精神看護専門看護師 福田 亜紀 氏	時間	17:30 ~ 19:00
	主催: 高知医療センター・看護局 教育担当 申込先 FAX: 088 (837) 6766					
	23・24	金・土	<b>第30回 日本救急医学会中国四国地方会</b> (参加費要、事前申込要)			
			内容	23日 救急隊教育セミナー テーマ「今、南海トラフ大地震を中国四国全体で考える」 「地方が抱える救急医療の問題を皆で語ろう」	会長	高知医療センター救命救急センター長 喜多村 泰輔 氏
				24日 基調講演・シンポジウム・ポスターセッション等	場所	高知市文化プラザかるぼーと 大ホール・小ホール
			時間	23日 13:00 ~ 17:00 / 24日 8:50 ~ 16:00	時間	23日 13:00 ~ 17:00 / 24日 8:50 ~ 16:00
お問い合わせ: 高知医療センター 事務局・経営企画課 吉森 対象 医療関係者						
31	土	<b>第33回 地域医療連携研修会</b> (参加費無料・事前申込不要) ※実技研修に参加希望の方は事前申し込みが必要で				
		内容	「看護師が行う中心静脈リザーバーの管理」	講師	高知医療センター がんセンター長 森田 荘二郎 氏	
		対象	講演 医療従事者・一般 / 実技研修 医師・看護師		高知医療センター 看護師	
		時間	講演 13:30 ~ 15:30 / 実技研修 15:40 ~ 17:00	場所	高知医療センター 2F くらしおホール	
お問い合わせ: 高知医療センター・地域医療連携室						
6月	11	水	<b>高知医療センター 看護局集合研修 他施設公開研修プログラム</b> (事前申込要)			
			研修名	「せん妄状態の患者の看護」	場所	高知医療センター 1F 研修室 2・3
			講師	高知医療センター 心のケアサポートチーム	時間	17:30 ~ 19:00
	主催: 高知医療センター・看護局 教育担当 申込先 FAX: 088 (837) 6766					
	15	日	<b>高新・高知医療センターがんセミナー・2014</b> (参加費要、事前申込要)			
内容			「抗がん剤の副作用と上手につき合う方法」	場所	高新文化教室 (RKC 高知放送南館 3階 37号室)	
講師			高知医療センター 薬剤局 臨床薬剤部長 宮本 典文 氏	時間	10:30 ~ 12:00	対象
主催: 高知新聞社、高知医療センター 協賛: アフラック高知支社 主管: 高知新聞企業 お問い合わせ: 高新文化教室 TEL: 088 (825) 4322 (受講料 9,850円 / 全12回、1,500円 / 1回)						

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

## 編集後記

新年度も2ヶ月目を迎え、新たに本院で医師としてのスタートを切った初期臨床研修医も、少少だけ緊張が取れてきたように見受けるこの頃です。彼らのご紹介は例年通り来月、6月号を予定していますが、今月は診療現場の今をお伝えする第二回として、外科グループを取り上げました。本院の中でも中心的な外科グループの現状を是非、ご覧ください。

それから今月号には、1年半振りに、読者アンケートを添えてあります。お答えは、できれば院長先生、あるいは現場で医療連携を担当されておられる方、それぞれから頂戴いたしたいと、2部ずつの同封いたしました。何卒よろしくおねがいいたします。(深田 順一)



平成26年5月1日発行  
にじ 5月号 (第103号)  
毎月発行

編集者: 深田 順一  
発行者: 武田 明雄  
印刷: 株式会社高陽堂印刷

発行元:  
高知県・高知市病院企業団立  
高知医療センター  
〒781-8555 高知県高知市池2125-1  
TEL: 088 (837) 3000 (代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp